

裏岩手連峰 姥ガ岳・中倉山・他

藤本

【日時】2007年12月31日(月)～2008年1月2日(水)

【メンバー】藤本(L)、中村、渡辺、池田

12月31日 姥倉山

前日朝までは雨。その後雨が雪に変わり、昨夜は一晩中降っていたようだ。車が雪で覆われている。登山口である松川温泉では、新雪は20cmくらい。トレースがないので、ラッセルが大変そうだ。

橋を渡り、林道に行く。途中で二手に分かれているが、地図に載っている左に行く。林道の奥は公園のようになっていた。湯ノ森と932Pとの鞍部を目指す。鞍部から湯ノ森は急な尾根を上がる。藪が濃い。湯ノ森は、平らな台地になっている。ここで休憩。

湯の森の台地が終わると、いよいよ姥倉山への登りとなる。下部はだらだら斜面で、沢型が入り凸凹して歩いて歩にくい。1200mくらいから登りらしくなり、その後どんどんと斜度を上げる。

オープンバーンが所々に現れてくると、いよいよ森林限界が近づき、風も出てくる。背丈ほどの灌木になるころには、強風と低温で結構過酷な状況となる。時計を見ると13時を過ぎているので、山頂まであと少しではあるが、ここで引き返す。

滑走である。上部は風でパックされ重い雪となり、全然滑らない。しかし少し標高を下げ樹林の中に入ると、それなりに滑るようになる。藪を避け、できるだけオープンな斜面を探しつつ、かつ



これがウワサ?の民宿「仁」

方位を外さないように注意しながら滑る。あつと言う間に斜度のある斜面は終わる。ここで小休止。

ここからは、登りのトレースに乗っかり、湯ノ森大地の端まで一気に滑る。この先湯ノ森台地を越えるには、少し登らなければならない。シールをつけるのも、かに歩きで登るのも中途半端な登りで、ならばと左を巻くことにしたのだが、これが失敗だった。斜面トラバースをしてい



次郎の屋根に雪降り積む(丸森)

るつもりが、気づかないうちにどんどんと左へ左へと行ってしまい、結

果現在地確認ができない状況に。

とにかく、下へは降りすぎず北へと進むことに。途中急な斜面をトラバースし

ながら進むと、堰堤を持った川が見えてきた。「堰堤＝林道」の模式が頭に浮かび、その堰堤が登りの林道二俣の左の奥に位置していると、ようやく現在地確認ができた。

堰堤のところまで下り、100mくらい林道を歩くと、林道二俣で朝のトレースを発見。辺りは相当暗く、ヘッドン行寸前であった。（中村記）

【タイム】松川温泉(8:38)―山頂手前1470m(13:20/35)―松川温泉(16:50)

1月1日 丸森

強い冬型に見舞われた年末年始。2日間で70cmは積もただろうか。茶臼岳にしろ源太ヶ岳にせよ上部は雪雲に覆われ強風、視界無し、雪崩の危険性ありと3拍子揃ってしま



たまにはこんなプレゼントも（丸森）

ったため、悪天を予想して出発前に急遽サブプランに入れた丸森へ行くことにした。昨日がんばった池田さんは今日は休養日。松川温泉先の車止めからラッセルする事2時間半。平らな樹林の丸森に到着する。ここは上倉山から下倉山にかけてのカルデラか又は爆裂火口の中にあたるところで、予想通り風もなく穏やかな所である。しかーし！斜度が緩い上この深雪では下りラッセルとなる事もしばしばである。シールが無い分かえって始末が悪い。涙ぐましい努力をしてトラバース気味に高さを稼いで滑り込んでも数ターンで止まってしまう。でもたまには頭まで粉

が舞いましたよ。上りのトレースを下った方が正解だったなあ、などと考えながら深雪と戯れているうちに出発点の車止めにたどり着いた。さあ、温泉へ行きますか。（藤本記）

【コースタイム】車止め(10:00)～丸森(12:30-13:00)～車止め(14:50)

1月2日 中倉山

下倉スキー場トップから、左手に落ちた崖沿いに行くのと到着します。森の中を散策するにはちょうど良いですが、滑れる斜面は小さいのが2つ程度。（ハイキングに終始した為、コースタイム等はありません）（池田記）

- ★ 1 昨年：雪最高、天気最高
- 昨年：雪少々、天気最高
- 今年：雪深し、天気最悪

なんだかだんだん快適パウダー滑降が少なくなっている気もするし、題名も八幡平のはずだったのが、んっ！裏岩手連峰じゃない？になってしまいました。あの天気の中、毎日出動できただけよしとしましょう。（藤本記）

【地形図】松川温泉

中倉山のとある斜面にて...

F本さん、滑りをビデオ撮らせてくださ〜い



え、そう?じゃあ やっちゃんかな♪

せーの☆



はいよ



見てる? 見てる?



やっばウマいな俺



あれ?? ヤバッ...



まだイケる、まだごまかせる!



づおお!



あ〜やっ ちゃった...



パタついて笑い とる方向に転換!



プレッシャーに弱いんだよな

そうね

J郎

By Mi

